

令和6年度総社市楽天ふるさと納税デザイン等管理業務 公募型プロポーザル審査基準

1 審査方針

令和6年度総社市楽天ふるさと納税管理等業務の目的に鑑み、企画提案書等の事前提出書類のほか、プレゼンテーション及びヒアリングの内容等を総合的に評価して判断する。

2 審査会まで

- (1) 審査委員は、期日までに提出された企画提案書等について、プレゼンテーション審査会までに内容の確認を行う。
- (2) 提案者が 5 者を超えた場合、提出された企画提案書等を基に審査委員による書類選考を行い、プレゼンテーション審査会へ参加する提案者を 5 者程度とする場合がある。

3 審査方法

- (1) 提出された企画提案書について、個別にプレゼンテーション審査を行う。プレゼンテーション審査会の時間は次のとおりとする。
 - ・提案者からのプレゼンテーション 20 分以内
 - ・審査委員からの提案者へのヒアリング 10分程度 合計30分程度
- (2) 提案者による審査委員へのプレゼンテーションを実施後、審査委員から事業者へのヒアリングを行い、各審査委員が評価基準により採点を行う。

4 選考方法

- (1) 評価項目及び評価基準に基づく評価点(以下「評価点」という。)の合計得点が最も高い提案者を優先交渉権者とし、第2位以降も評価点の合計得点が高い順に選考する。
- (2) 評価点の合計得点と同点の場合には、審査委員の協議により選考する。
- (3) 評価点の合計得点が満点の6割に達していない場合は、交渉権者として選考しない。
- (4) 書類選考を行う場合も、同じ選考方法とする。

5 評価基準

- (1) 審査委員は、別表の「評価項目及び評価基準」に基づき、プレゼンテーション審査会の参加者ごとに評価する。
- (2) 各評価項目に対して、評価内容ごとに5段階評価(5点満点)とし、係数に記載されている数字を、評価点に乗じたものを得点とし合計得点を算出する。(100点満点/人)
評価点：100点/人 × 7人 = 700点満点(満点の6割：420点)
- (3) 書類選考を行う場合も、同じ評価基準とする。

【別表】「評価項目及び評価基準」

1 評価方法

各審査事項について、5段階評価を行い、係数をかけた値を点数とし、その合計により優劣を判断する。

【評価】5点:優れている 4点:やや優れている 3点:ふつう 2点:やや劣る 1点:劣る 0点:該当なし

2 審査事項及び評価の観点

評価項目		評価の観点・基準	評価	係数	配点
業務体制	執行体制	業務全体を適正かつ確実に実施するための人員体制が整っているか。(繁忙期,トラブル発生時の体制を含む)		1	
	導入計画	スケジュールも踏まえて実現可能な提案となっているか。		2	
	連絡調整	本市の担当者と十分に連絡調整を図ることができる体制がとられているか。		1	
企画提案	楽天サイトの運用技術	楽天ふるさと納税サイト自治体専用ページのシステムに精通しており、謝礼品の追加・編集等管理運営に優れているか。		2	
	デザイン性	本市の特色を生かした魅力的なデザインを提案できる技術を有しているか。		2	
	返礼品強化能力	返礼品提供事業者に対する取材能力や、返礼品の写真撮影・画像加工技術を有しているか。		2	
	データ連携	画像共有等のデータ連携作業がスムーズに行える提案となっているか。		1	
	新規顧客確保	楽天サイトにおける寄附傾向を把握するとともに、総社市返礼品の特徴を理解したうえで新規顧客確保につながる提案ができてきているか。		2	
	リピーター確保	総社市や総社市返礼品の魅力を十分に理解し、リピーター確保に繋がる提案ができてきているか。		2	
	ふるさと納税PRへの取組	本市の魅力を効果的に発信し、楽天サイトを中心にふるさと納税を通じたファン確保に繋がることが期待できる提案となっているか。		2	
自社の優位性		自社の強みを生かし、その知識や経験を活かした独自性のある取組の提案ができてきているか。		2	
価格		上記の内容に対して見合った見積額となっているか。		1	
合計			—	—	